



第13号

※ホームページは「鶴川第二小学校」で検索してください。
学校日記、各種おたより、学校情報等がご覧になれます。

2025年度 学校評価について

校長 安部 貴史

先週は、学習発表会のご参観、ありがとうございました。

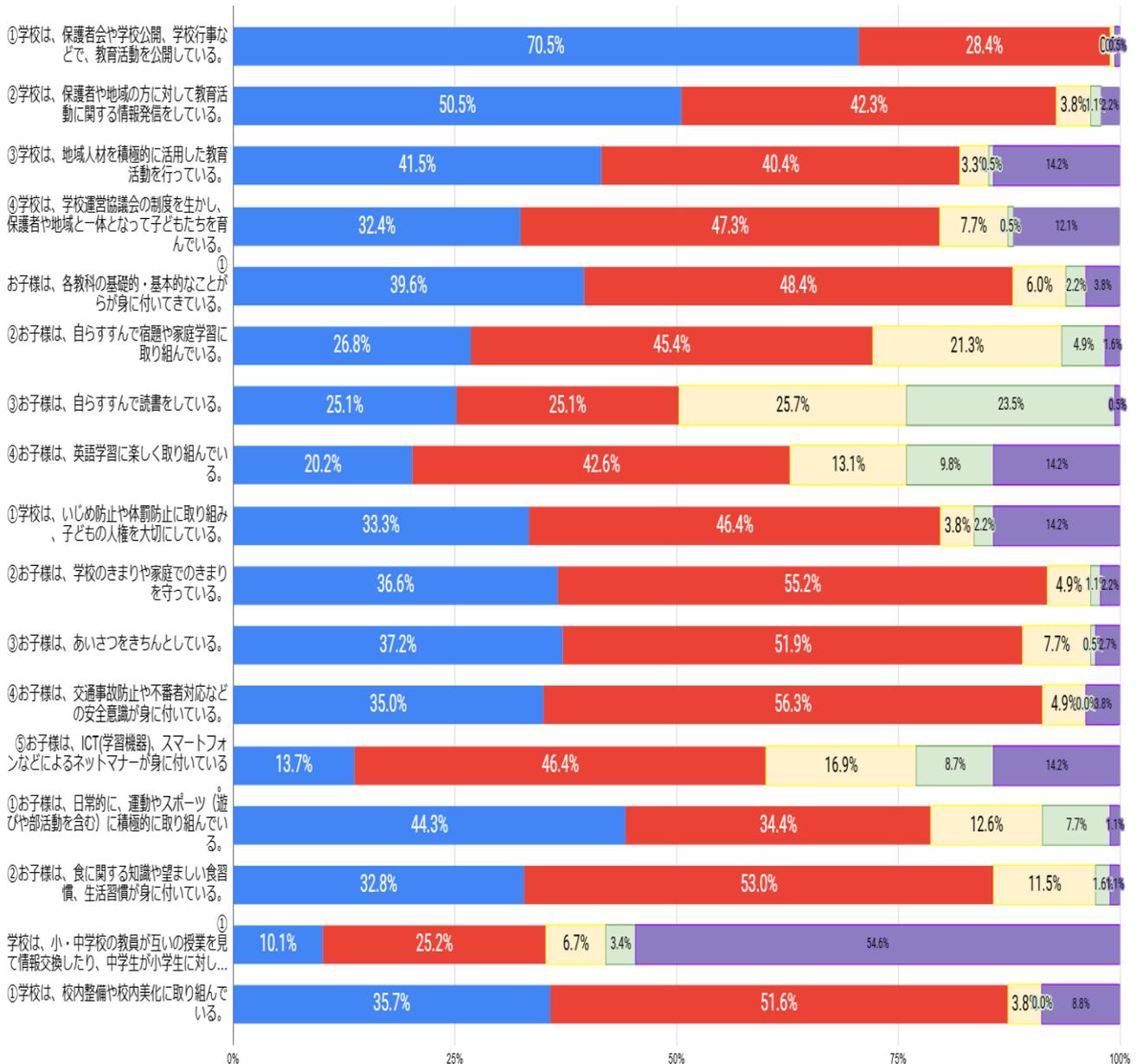
本号では、2025年度の保護者の皆様からいただいた学校評価と来年度の教育活動の方向性についてお知らせします。1月まで回答期間を延長させていただきました。アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。

以下、保護者の皆様への調査結果です。本調査の結果及び児童への調査、学校運営協議会委員の皆様の評価等を踏まえ、次年度の計画を立ててまいります。

なお、お忙しい中とは存じますが、保護者の皆様には、今後とも、このような調査へのご理解とご協力をお願いします。

町田市立鶴川第二小学校 保護者アンケート 実施 2025年12月～2026年1月
(回答 53%)

A: そう思う B: どちらかといえば、そう思う C: どちらかといえば、そう思わない D: そう思わない E: 判断できない・わからない



【コメント（概略 ※課題を中心に）】

<教科等の指導>

- ・宿題は、毎日少しずつでも出してほしい。少ないようにも感じる。
- ・クロムブックによる宿題は、保護者が見えにくい。遊んでいることもあると不安もある。
- ・クロムブックの中の学習は、何をしているのか分かりにくい。子どもの学習の見える化をしてほしい。
- ・ICTを活用するのはよいが、書くことが少ないように感じる。書くことも必要ではないか。
- ・地域の中で活動する学習があることはよい。
- ・読書活動、読み聞かせ等、上の学年にも学年に応じて必要である。

<生活指導他>

- ・いじめに関するアンケート等、対応を発信してほしい。
- ・指導の中で、男子、女子を一括りにするような指導がある。改善してほしい。

<その他>

- ・タブレットと教科書を一緒に持ち帰るのは、子どもに負担がある。
- ・tetoru 配信と印刷物の配布があるが、すべて tetoru 配信にしてほしい。連絡手段は時代に合わせて考えていく必要がある。
- ・統合に向けて、子どもや保護者の意見を聞いてほしい。

※「先生たちが、一生懸命に対応している。」「上の学年との交流がよい。」などの肯定的なご意見を多くいただきました。

※紙面の都合で、学校としての課題として、主なものを掲載するとともに、ある程度まとめさせていただいています。校長をはじめ、教職員についての良い面も課題も受け止めさせていただきます。そのためにもコミュニケーションが大切と感じております。

【保護者、児童のアンケートを受けて】

- 教育活動については、保護者の皆様からも児童からも概ね肯定的な回答となっています。
- タブレット端末の使用について、「何をしているのかが見えない。」「書く活動も大切。」などの課題が出されています。
- 家庭学習（宿題含）、SNSの使用、子どもの主体的な活動、読書に関する項目は、肯定的な回答が他と比べると少なくなっている。
いただいたご意見を受け止め、次年度は、以下のことに取り組んでいきます。

<取組>

- ・児童の主体的な学習となるような指導の推進（ICTの活用と実際に書く活動とのバランスを考えて）
※5・6年生は、一部の教科を担当が担当する教科を決めて指導する一部教科担任制を実施し、指導者の専門性を発揮しやすくすること、児童を多くの教員で指導することを行っていきます。
- ・児童の思いや考えを生かし、実践する学習や行事の推進
- ・tetoruによる分かりやすい配信にするための改善（tetoruによる学校だより等の配信は、今年度より開始しました。課題は、受け止めています。改善しつつ次年度も続けてまいります。）
- ・保護者の皆様とともに育てる教育活動を目指すための保護者会の充実 等
※道徳授業地区公開講座については、保護者会の日程に合わせて授業公開、意見交換を学年ごとに実施する形を試行します。

<いただいたご意見について>

- 宿題の在り方（タブレットPCの使用とも重なります。）
家庭における学習は、学習の定着を図ることと児童の学習習慣を付けること、主体的な学習を促す等の目的があります。学年というより、児童の状況に応じた家庭学習があります。こうした目的を踏まえて各学年で考えて出しておりますが、保護者の皆様と目的や課題を共有しながらよりよい家庭学習を考えていきます。

○tetoru 配信

今年度は、お知らせする項目を記載するようにしました。印刷物での配布は、ご記名の上でご提出いただくものや、行事のプログラム、市の配布物等がありますので、印刷物の配布があることは、ご理解ください。今後とも、情報の伝達方法は考えていきます。

○タブレットPCの使用

学校で学習のために貸与しているものです。タブレットPCの使用が当たり前となり、それに伴っての課題も出ています。書くことの必要性は、学校においても議論しているところです。また、学習が見えるようにすることも、今までのノートへの記録、練習等とのバランスも含めて考えています。アナログもデジタルも両方が大切な時代です。バランスを考えてまいります。

また、SNSの使用についても学校、家庭で協力して考えていくことが必要なものです。その時その時の子どもの状況をみながら、保護者の皆様ができること、子ども自身ができること、地域の皆様ができることを改めて考えていくことも必要です。教育を共に考えていくという姿勢で改善していきます。

ご意見を受け止め、教育課程（教育計画）を作成します。ご理解の上、ご協力ください。

次年度の学校経営方針の概要は、3月中に tetoru 配信にて、ご覧いただけるようお知らせします。

※教育活動に対しての励ましのご意見、課題のご指摘をこれ以外にもいただきました。ありがとうございました。ご意見を受け止め、学校としてできることを丁寧に取り組んでまいります。